

第11号の刊行にあたって



学校法人中央大学

理事長 深澤 武久

日頃から、本学の運営について学員の皆さまをはじめ、関係各位の皆さまのご協力とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

「中央大学の近況」は中央大学の現状をお知らせする広報誌として、今回で11回目の発行となります。

さて、10月18日に国営昭和記念公園で行われた、東京箱根間往復大学駅伝競走予選会において本学は予選を通過して、86回連続の本戦出場を決めました。終了後「日本一の声援に背中を押されて、走ることができました」との多田要副主将の挨拶に胸が熱くなりました。応援していただいた皆さまには、心からお礼を申し上げます。最多の優勝経験・出場回数を誇る古豪としての自信と自覚を胸に、選手諸君の活躍に期待しております。

また、10月26日に開催したホームカミングデーは、天候にも恵まれ、多くの方の参加をいただきました。記念式典では8組の中大親子三代の表彰式を行ったほか「グローバルに広がる白門の絆とネットワーク」をテーマに様々な企画を用意しました。代表的なものは、評論家の佐高信氏と目加田説子総合政策学部教授の対談、在学生による海外留学体験報告や写真展、学員会支部による「中央の絆」等であります。このほか、皆さまに楽しんでいただけるよう、寄席、演奏会、福引抽選会等を行い、懐かしき友との旧交を温めるなど、台風のために中止となった昨年の分まで、楽しめる機会になったものと思います。ご協力をいただいた学員の皆さまに、改めてお礼を申し上げます。

本学は、10月25日の理事会において新総長・学長に酒井正三郎教授を選任致しました。本学を取り巻く厳しい状況を乗り越えていくために、教学・法人・学員会が協力し、それぞれの考え方に理解を示し、すべての人、すべてのグループが相互に信頼の絆を強め、心を新たにして大学のために結集し、オール中央で本学のガバナンスの再構築に取り組み、母校の評価を高めるために全力を尽くしてまいります。

文部科学省の補助事業「スーパーグローバル大学創生支援事業」は不採択という残念な結果に終わりましたが、法人・教学一体となって本学独自のグローバル人材育成事業を展開して、社会の要請に応える学生の教育に力を注いでまいります。今後も皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。